

令和5年度

社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会 事業報告

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行し、社会が以前の日常に戻りつつある一方で、コロナ禍や物価高騰で生活に困窮した多くの人々の生活は依然として厳しい状況が続いているため、今年度も対象となる世帯への支援を重点的に行いました。

また、1月の能登半島地震に見られるような地震災害や、気候変動の影響による水害等の自然災害が日本各地で毎年発生する中、今後予測される災害に備えるための取り組みを含め各種事業を実施しましたので報告いたします。

【重点目標に対する経過報告】

1. 生活困窮者世帯への支援

- 様々な要因により生活に困窮する世帯に対し、食料の支援をはじめ家計の改善、就労支援などを行い世帯の自立に向けた支援を行いました。
- 一時的に住む場所を失ってしまった世帯に対し、緊急的に一定期間宿泊場所や衣食を提供し、生活再建に向けた支援を行いました。
- 新型コロナ特例貸付を受けた世帯に対し、償還の免除や猶予を含め現状を確認しながら対象者に寄り添った支援に努めました。

2. 事業継続計画（BCP）の策定

- 社協には、市民の生活課題への相談・支援や福祉・介護サービスの提供、そして災害発生時には、「災害ボランティアセンター」の運営をはじめとした地域の復旧、復興に向けた特別な役割があり、社協事業を継続的に進めるために、事業の優先度や、外部支援の受け入れ、資材の確保等示したBCP計画を策定しました。
- 令和6年3月末までに、介護事業所等のBCP計画策定が義務化されたことから、ケアセンター、ひばりのそれぞれのBCP計画も策定しました。

【法人運営・管理】

1. 総務部門

(1) 理事会・評議員会等の開催

① 理事会

回数	開催	会場	議事
1	令和5年 6月14日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none">• 理事及び監事の推薦について• 評議員候補者の推薦について• 令和4年度事業報告について• 令和4年度会計収入支出決算について• 監事の監査報告について• 定時評議員会の招集について• 会長及び常務理事の職務執行状況について

2	令和5年 7月3日	下妻公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長（2名）及び常務理事の選任について
3	令和6年 3月15日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・専決処分の報告について「社会福祉法人下妻市社会福祉協議会災害見舞金支給規程の一部改正について」 ・会長及び常務理事の職務執行状況について ・令和5年度会計収入支出補正予算（第1号）（案）について ・処務規程の一部改正について ・理事の推薦について ・令和6年度事業計画（案）について ・令和6年度会計収入支出予算（案）について ・役員等賠償責任保険契約の締結について ・評議員会の招集について

②評議員会

回数	開催	会場	議事
1	令和5年 6月26日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告について ・令和4年度会計収入支出決算について ・理事及び監事の選任について
2	令和6年 3月27日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・専決処分の報告について「社会福祉法人下妻市社会福祉協議会災害見舞金支給規程の一部改正について」 ・令和5年度会計収入支出補正予算（第1号）（案）について ・処務規程の一部改正について ・理事の選任について ・令和6年度事業計画（案）について ・令和6年度会計収入支出予算（案）について

③評議員選任・解任委員会

回数	開催	会場	議事
1	令和5年 6月20日	下妻市役所	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任について

(2)苦情解決体制の強化

施設内へのポスター掲示により、利用者への制度の周知を図りました。

事業所名	苦情件数	対応中件数	解決件数	未解決件数
砂沼荘	0件	0件	0件	0件
社協ケアセンター	0件	0件	0件	0件
ひばりの	0件	0件	0件	0件
事務局	0件	0件	0件	0件

(3) 広報・啓発活動

① 広報紙「ふくしものがたり」等の発行

紙面の構成や掲載写真等を工夫し、わかりやすく、関心を持っていただける紙面づくりに努めました。

内容	発行	配布先
社協広報紙「ふくしものがたり」	年4回（278号～281号）	市内全戸
社協会員会費募集広報紙	年1回	



社協広報紙「ふくしものがたり」



社協会員募集広報紙

② ホームページ

見やすく分かりやすい情報の発信を心掛け、ホームページの運営を行いました。



社協ホームページ

③ その他の広報

SNSを活用し、下妻市の地域福祉に関する情報を随時発信しました。



社協 X (旧ツイッター)

(4) 会員増強運動の実施

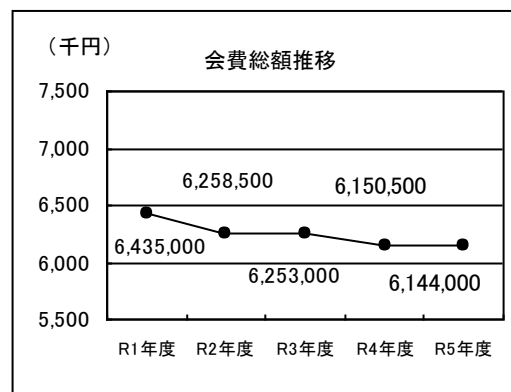
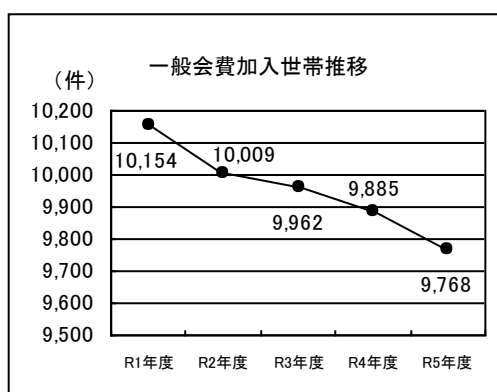
会費を財源とする事務事業を明確にした予算編成、執行管理を行いました。

<説明会等の開催>

種類	開催	会場	内容	対象者
一般会費	郵送にて各自治会に依頼		取りまとめ依頼	支部推進員
特別会費	5月30日	下妻公民館	取扱説明	支部代表者

<加入実績>

種類	会員数	会費額	対目標額
一般会費	9,768世帯	4,884,000円	98.3%
特別会費	238件	1,260,000円	105.7%
計	—	6,144,000円	99.7%



(5) 茨城県社会福祉大会における表彰

地域福祉の進展に資するため、市内福祉事業に功労のあった方や団体等に対し、茨城県知事、茨城県社会福祉協議会会長及び茨城県共同募金会会長より表彰が行われました。

<第73回茨城県社会福祉大会における受賞者数>

区分	人数
茨城県知事表彰	個人 5名 1団体
茨城県社会福祉協議会会長表彰	個人 11名
茨城県共同募金会会長表彰	個人 1名

2. 労務管理部門

(1) 職員研修の実施

社協の自主研修の他、下妻市役所、全国・茨城県社会福祉協議会等主催の研修会に参加しました。

研 修 内 容
災害ボランティアセンター設置・運営訓練、「災害初動期対応チーム」メンバー養成研修、第59回関東ブロック郡市町村社協職員合同研究協議会、茨城県内社会福祉協議会職員新任・初級研修 ほか

(2) ストレスチェックの実施

メンタルヘルス不調を未然に防止することを目的に、全職員を対象にストレスチェックを実施しました。(58人実施)

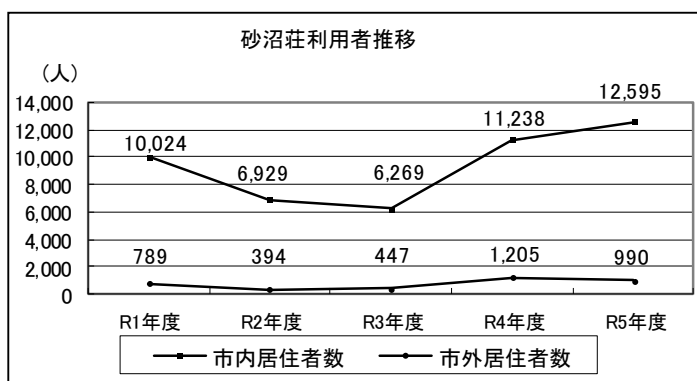
(3) 新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルスが5類感染症に移行後も、引き続き職員や来所者の体温チェック・アルコール消毒を徹底しました。また、来客スペース等の消毒作業を毎日実施しました。

3. 指定管理者制度に基づく施設の管理・運営

① 福祉センター「砂沼荘」

区 分	利用者数
市内居住者	12,595名
市外居住者	990名
計	13,585名



子供から高齢者まで利用できる健康増進施設として、下記の講座を開催しました。

講座名	開催日	延べ参加人数
親子リトミック	毎月 第1火曜日	52組 105名
健康体操教室	毎月 第1・第2・第3水曜日 第2・第3・第4火曜日	1,991名
シルバーリハビリ体操教室	毎月 第3火曜日	146名
スクエアステップ教室	毎月 第2・第4火曜日 第2・第4水曜日	901名
脳(のう)活(い)きいき教室	毎月 第1火曜日 第1水曜日	326名
男性のための脳トレ・筋トレ	毎月 第3水曜日	75名
健康&美活・ヨガ教室	毎月 第4水曜日	261名
		計 3,805名

- ②下妻市福祉センター「シルピア」 ③下妻市中心身障害者福祉センター「ひばりの」福祉センターとして、市民や団体の利用はありませんでした。

4. 災害・緊急支援事業

＜火災見舞金＞

件数	金額
2件	50,000円

＜行路人旅費＞

件数	金額	償還
1件	500円	0円

※令和5年9月より火災見舞金の支給額を全焼30,000円、半焼20,000円に変更

5. 共同募金関係

(1) 共同募金運動への協力

社協が自主的に行う事業の重要な財源となっている赤い羽根共同募金運動は、茨城県共同募金会との申し合わせ事項に基づき、下妻市共同募金委員会の業務として全面的に協力し事業を展開しました。



【地域福祉事業】

1. 相談支援・権利擁護部門

(1) 心配ごと相談事業（市受託事業）

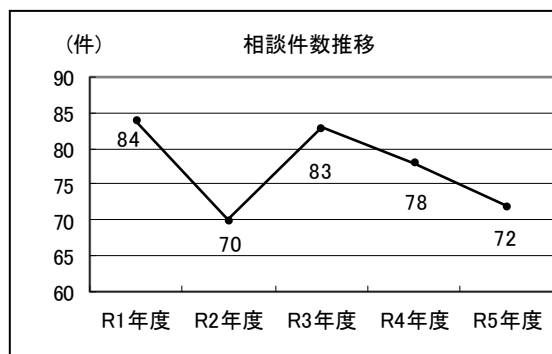
法律相談を毎月3回開催しました。

（内3回は相談予約が無く未開催）

＜実績報告＞

開催	件数
年間33回 (第2・3・4火曜)	72件

※弁護士3名・相談員8名



＜相談内容＞

相談内容	延べ件数	相談内容	延べ件数
相続問題	32件	職場	1件
金銭の貸し借り	13件	子供の養育・親権	0件
離婚問題	5件	財産	2件
土地（不動産）	3件	事故等	3件
借金問題	8件	架空請求	1件
家族関係	7件	友人関係	0件
住居問題	1件	その他	13件
隣人関係	1件	—	—
		計	90件

(2)生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

①生活福祉資金貸付事業

- ・相談者の生計維持、自立支援を目的に茨城県社会福祉協議会と連携、指導を仰ぎながら延べ65件の相談に応じました。新規の貸付はありませんでした。

資金種類	昨年度末	新規	完済等	本年度末	滞納
1 福祉資金					
福祉費	7	0	1	6	3
緊急小口資金	5	0	0	5	5
2 教育支援資金					
教育支援費	10	0	0	10	4
就学支度費	11	0	0	11	3
3 総合支援資金					
生活支援費	21	0	1	20	18
住宅入居費	0	0	0	0	0
一時生活再建費	1	0	0	1	0
4 不動産担保型生活資金					
一般世帯向け	1	0	0	1	0
要保護世帯向け	1	0	0	1	0
5 臨時特例つなぎ資金					
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	0
計（件）	57	0	2	55	33

②新型コロナウイルス生活福祉資金特例貸付（県社協受託事業）

- ・現在も厳しい生活をされている借受人の世帯に対し、電話等で生活状況を確認し償還免除、猶予等の案内や、自立相談支援事業と連携し食糧支援やガスコンロ、炊飯器の貸出を行いました。

<フォローアップ支援実績>

借受人の状況	窓口	架電	受電	訪問	合計
償還免除承認	10	14	2	0	26件
償還免除不承認・未応答	70	478	19	2	569件
合計（件）	80	492	21	2	595件

<フォローアップ支援 対応状況>

支援内容	件数	支援内容	件数
自立相談支援機関へのつなぎ	12	不通・不在	393
償還猶予案内・申請	114	その他	64
償還免除案内・申請	12	合計（件）	595

(3)小口資金貸付事業

- ・償還に遅れのある世帯に通知文の発送や電話による生活状況の聞き取りを行い、償還計画の見直しや必要なサービスへのつなぎ等、支援の継続に努めました。

- ・昨年度と比べ貸付件数は 3 件増でしたが、貸付金額は 381,000 円の減となり、完済件数は 7 件増となりました。

内 容	件 数	金 額	完済件数
貸 付	60 件	1,338,000 円	34 件
償 還	95 件	961,000 円	

※R6.3.31 現在 未償還金額 5,446,911 円（滞納分含む）

(4)日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

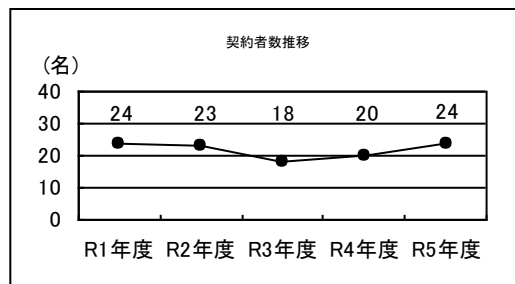
- ・16 件の相談うち 7 件が新たに契約となり、専門員 2 名・生活支援員 9 名が延べ 342 回の支援を行いました。（生活支援員 1 名増）
- ・各種研修会等へ参加し専門員・生活支援員の援助技術や専門性の向上を図りました。
- ・ホームページ(通年)と 5 月号、R6.2 月号広報誌に事業紹介記事を掲載し、本事業への理解と利用促進を図りました。また成年後見制度に関する研修会でパンフレットを配布しました。

<研修会・会議への参加>

開催日	内 容
R5.12.24(日)	成年後見制度講演会（社会福祉法人 下妻市社会福祉協議会／下妻市地域包括支援センター）
R6.1.26(金)	現任生活支援員研修（社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会）
R6.2.28(水)	下妻市高齢者虐待防止ネットワーク実務者会議（下妻市地域包括支援センター）
R6.3.25(月)	情報収集ガイドライン聴取に関する研修会（社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会）

<契約状況>

ケース	前年度末	新規 契約	解約	本年度末
認知症高齢者	11名	6名	3名	14名
知的障害者	4名	1名	0名	5名
精神障害者	5名	0名	0名	5名
計	20名	7名	3名	24名



<契約者居所>

居 所	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	計
在 宅	13名	5名	5名	23名
施 設	1名	0名	0名	1名
病 院	0名	0名	0名	0名
グループホーム	0名	0名	0名	0名
計	14名	5名	5名	24名
生活保護受給者(再掲)	(11名)	(1名)	(2名)	(14名)
書類預かり(再掲)	(1件)	(1件)	(1件)	(1件)

(5) 成年後見制度事業【新規】

- ・成年後見サポートセンターしもつまを開設し、権利擁護の体制を強化しました。
- ・成年後見体制整備研修会や相続等に関する研修会などに延6回参加し、担当職員の資質向上に取り組みました。
- ・市内の障がい者施設関連及び当事者団体に対し出前講座を2回行いました。

<受任状況>

類型	新規受任	解約	本年度末
後見	1名	0名	1名
保佐	0名	0名	0名
補助	0名	0名	0名
計	1名	0名	1名

<会議開催状況>

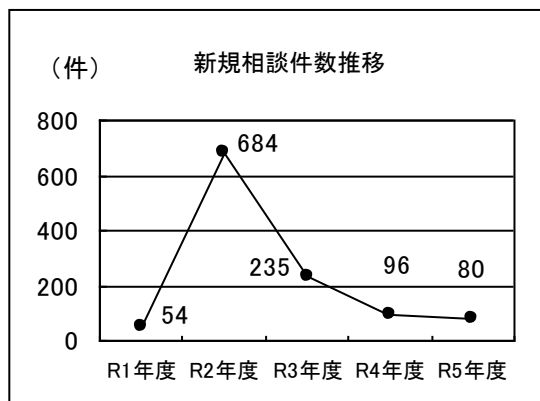
項目	回数
受任審査会議	1回
受任調整会議	1回
計	2回

(6) 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

- ・生活福祉資金貸付事業と連携し、コロナ特例貸付償還開始後も引き続き生活が厳しい世帯の相談に応じ、償還猶予手続きや食料支援、家計改善支援事業の紹介等、個々の状況に合わせて必要な支援を行いました。

<相談支援実績>

内容	実件数	延件数
自立相談支援事業	80件	569件
生活困窮者自立支援法に基づくサービス等利用		
住居確保給付金	6件	23件
就労準備支援事業	1件	11件
家計改善支援事業	12件	104件
一時生活支援事業	8件	98件



(7) 学習支援事業（市受託事業）

① 寺子屋

- ・週1回の通常開催の他、宿題お助け隊として8月の夏休み期間中は週3回実施しました。
- ・宿題が終えた後、学びながら遊べるボードゲーム等を活用し交流の場にもなりました。

内容	実人数	延人数	開催回数
利用者	17名	230名	50回
ボランティア	13名	96名	

②にこここ学習塾

- ・市内在住の生活保護世帯、就学援助費受給世帯の中学1年生から3年生を対象に受験や定期テストに向けた学習支援を行いました。
- ・申込のあった10人（1～3年生含む）のうち継続して利用した3年生2名が志望校に合格しました。
- ・共同募金の財源を活用し、持ち帰りのできる飲み物やパンなどの軽食を配布しました。

内 容	実人数	延人数	開催回数
利用者	10名	165名	48回
ボランティア	13名	113名	

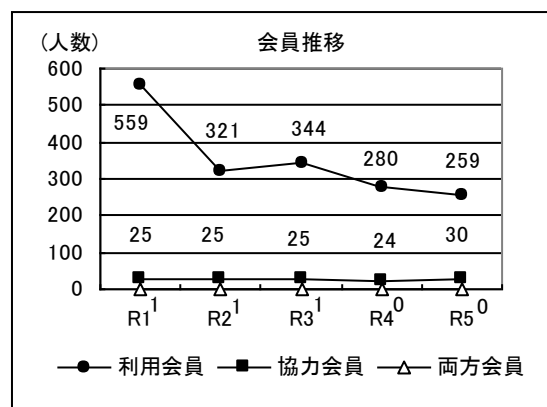
2. 地域福祉活動推進部門

(1)ファミリーサポートセンター事業（うえるきっず含む）市受託事業

- ・市広報紙等に年4回会員募集記事を掲載し会員の増員に努めました。
- ・事業紹介用のパンフレットを全戸配布し周知に努めました。
- ・協会員研修会、及び、交流会を開催し活動しやすい環境を整えました。

<会員状況>

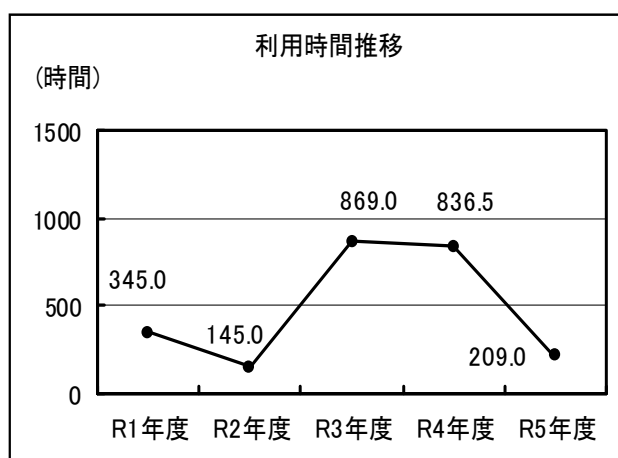
会 員	前年度末	増	減	本年度末
利用会員	280名	21	42	259名
協力会員	24名	9	3	30名
両方会員	0名	0	0	0名
計	304名	30	45	289名



<ファミサポ：利用実績>

内容	利用時間
時間内	209.0時間
時間外	0時間
割増	0時間
計	209.0時間

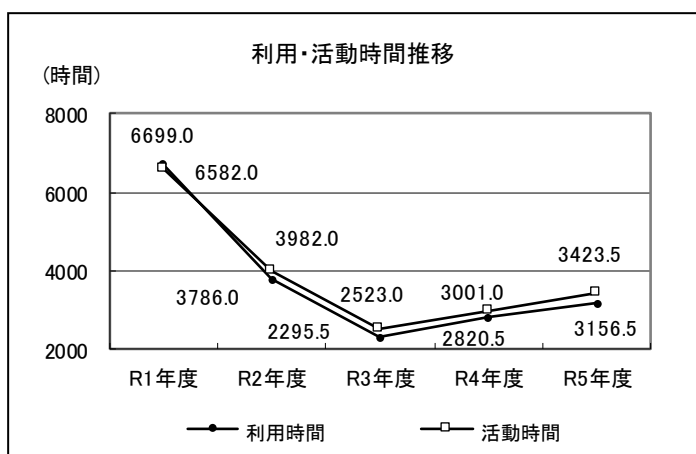
※利用会員宅又は協会員宅でのお預りのサービス



<うえるきっず：利用・活動実績>

内容	利用時間
利用時間	3156.5 時間
活動時間	3423.5 時間

※託児室（下妻公民館 1 階）での
お預りサービス



<利用内容及び件数：ファミサポ・うえるきっず合算>

内 容	件 数
保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	12 件
放課後学童クラブからの児童の迎え及び預かり	89 件
学校休みの時の預かり（夏休み・土日など）	113 件
協力会員自宅預かり後うえるきっずでの預かり	10 件
保育園入所前の援助	115 件
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	116 件
他の子供の学校行事の場合の援助	54 件
保護者等の買い物等外出の場合の援助	112 件
産後の育児援助	53 件
急用の場合の援助	30 件
合 計	704 件

<協力会員定例会>

開 催	内 容	会 場	参 加
4/18	共通理解と意見交換	うえるきっず	9名
3/19	共通理解と意見交換	下妻公民館	13名

<協力会員研修会および交流会> *あおぞらサービスと合同開催*

開 催	内 容	会 場	参 加
6/13	アンガーマネージメント	下妻公民館	18名
9/5	保育の心得	うえるきっず	9名
7/11	協力会員交流会	キューピー五霞工場	22名
12/6	救命救急講習	下妻公民館	19名



ファミサポ通信



あおぞら・ファミサポ協力会員交流会

(2) 地域子育て支援事業

- 子育て支援課や学校など関係機関と連携し、子育て世帯の支援に努めました。また、必要とする世帯に対し、食糧支援や制服譲渡などを行いました。
- 市内の子育てに関連する団体と共催し、防災イベント「防災ハロウィン2023」を開催しました。消防署や自衛隊、下妻警察署の方々にもご協力いただきたくさんの方に来場いただきました。

(来場者数887名・ステージ協力127名・スタッフ125名)

<防災イベントおよび講座>

開催	内容	会場	参加
10/28	防災イベント わくわくみんなの防災ハロウィン 2023	Waiwai ドーム	1,139名
5/23	講座 音楽に合わせてフィットネス	下妻公民館	2名
1/18	講座 ストレッチヨガ	下妻公民館	5名



協力団体のみなさん～防災ハロウィン～



ストレッチヨガ

<生活応援セットの配布>

- 経済的負担が増えている子育て世帯の生活を応援するため、夏休みと冬休みに食糧品等を配布しました。又ボランティアの協力により軽食の提供や、子供が楽しめるゲーム等を用意し、楽しいイベントになるよう実施しました。

開催日	対象者	配布件数	協力企業・団体	主な配布物
8/26 (土)	要保護 準要保護世帯 児童扶養手当受給世帯	96 世帯	3企業 5団体	米、 食糧品等の詰め合わせ
12/23 (土)	要保護 準要保護世帯 児童扶養手当受給世帯	129 世帯	7企業 5団体	米、卵、 クリスマスケーキ、 野菜セット、お菓子など



(3) 乳幼児発達相談事業（ポータージ発達相談事業）一部市補助事業

- ・個別相談：発達に偏りや遅れのあるお子さんの保護者に対し、相談員が一人ひとりのお子さんの特性に応じた接し方を助言しました。
年度後半より定員を超えたため、予備日を設け対応しました。
- ・集団指導：子どものそれぞれの発達に寄り添い、年齢、国籍、障がいの有無に関らず、違いを排除することなく共に育つことを目的として指導しました。
令和6年度から「くれよん（親子遊び教室）」に名称を変更します。

内 容	開催（延べ回数）	実利用者数	延べ利用者数
個別相談	月5回（年65回）	33組 （うち新規：12組）	117組（234名）
集団指導	月4回（年48回）	13組（29名）	95組（197名）

(4) 在宅福祉サービスセンター事業（あおぞらサービス）市受託事業

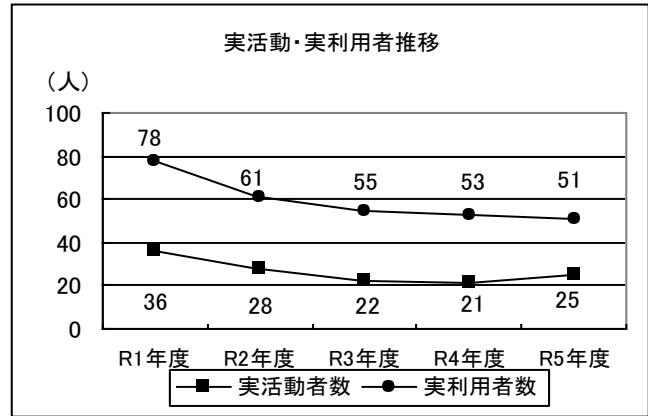
協力会員の資質向上や増員を目的として、ファミリーサポートセンター事業と合同で研修会および交流会を実施しました。また、新規会員登録として協力会員 8 名、利用会員 25 名が増員しました。

<研修会・交流会> 【ファミリーサポートセンター事業合同開催】

開 催	内 容	参加人数
7/11	協力会員交流会	22人
12/6	救命救急講習	19人

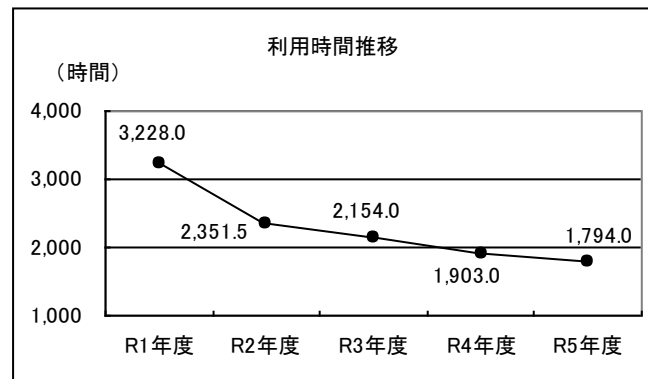
<会員状況>

利用会員	登録会員	92名
	実利用者	51名
協力会員	登録会員	73名
	実活動者	25名



<利用状況>

内容	計
家事支援	1532.0時間
話し相手	27.5時間
通院介助	71.5時間
その他	163.0時間
合計	1794.0時間



(5)高齢者見守り事業

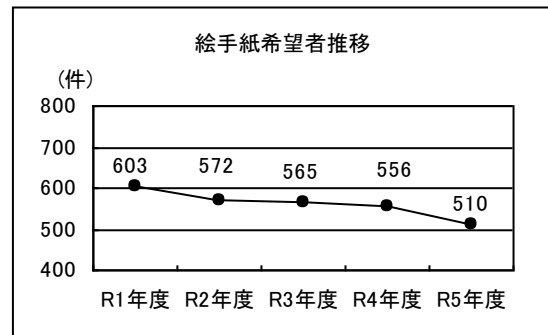
ひとり暮らし高齢者を対象に、心のふれあいを目的に季節感のある絵手紙などを届けました。

【ふれあいお届け事業】

①絵手紙

実施月	件数
8月	266件
12月	244件
計	510件

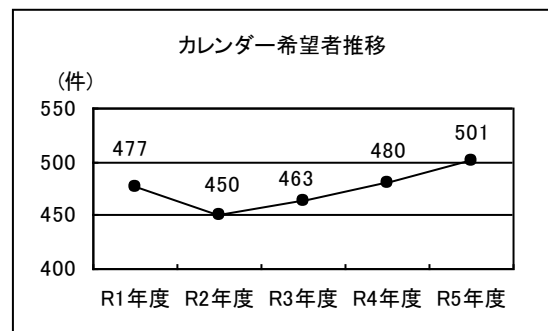
※書き損じハガキを活用
 ※ボランティアの協力により作成
 (絵手紙教室 コスモス・さくら・すみれ
 個人ボランティア宮田さん)



②社協オリジナルカレンダー

実施月	件数
12月	501件

※民生委員児童委員協議会にご協力を
 いただき配布しました。



(6) ささえあい推進事業

- ・活動内容の提案や拠点施設の予約申請などサロン活動を支援しました。
- ・全てのサロン・教室において、会員数・回数・延べ参加人数ともに増加しました。

<ふれあいサロン開設状況> 概ね 65 歳以上の高齢者対象

サロン名称	地区	会員数	回数	延べ参加人数
小友会	小野子	13名	43回	384名
坂本いきいきサロン	坂本	9名	11回	64名
いきいきサロンさぬま	長塚	8名	11回	64名
サロン陽だまり	大宝	27名	22回	294名
比毛サロン	比毛	13名	12回	75名
食と健康サロンin三新	三道地	30名	57回	560名
上宿お楽しみ会	上宿	15名	11回	136名
横根スクエアステップの会	横根	16名	24回	241名
稲穂の会	平川戸	14名	24回	315名
大宝スクエアステップの会	大宝	15名	12回	115名
ふれあいサロン	下妻	8名	12回	72名
通いの場 おれんち会	小野子	8名	44回	224名
計 (12サロン)		176名	283回	2,544名

新規 1ヶ所 退会 2ヶ所

<子育てサロン開催状況>

サロン名称	会場	回数	延べ参加人数
ひまわり会	リフレこかい	11回	299名
親子サークルひまわり	勤労青少年ホーム	12回	226名
計 (2サロン)		23回	525名

<社協主催 スクエアステップ教室>

場所	会員数	回数	参加人数(延べ)
砂沼荘	51名	48回	901名
リフレこかい	18名	11回	116名
千代川公民館	41名	24回	539名
計	110名	83回	1,556名

<ふれあいいいきいきサロン連絡会・研修>

各サロンの代表者等と個人登録ボランティア合同の交流会を開催し、サロンでも開催できる健康教室を体験してもらいました。

(7) 小地域福祉活動推進事業

- ・騰波ノ江地区で行われた地域住民主体の防災訓練を、行政と連携し支援しました。

開催日	場所	参加者	訓練内容
7/2 (日)	騰波ノ江小 体育館	【地区】 94名 区長・民生員・消防団・住民 【小学校】 9名 騰波ノ江小学校職員 【市】 10名 消防防災課・避難所担当職員 【社協】 5名	【地区】 ・参集訓練 ・安否確認 ・避難訓練 【市】 ・避難所開設訓練 【社協】 ・避難所運営ゲーム HUG



避難所運営ゲーム HUG



段ボールベッド組立て

3. 助成金交付事業

(1) 地域福祉助成事業

社協広報紙、チラシ、ホームページを活用し事業の周知を図りました。

① <助成実績>

時期	No.	申請事業	団体名	決定額
第1期	1	災害時における資機材整備事業	鎌庭西坪集落自治会	200,000 円
	2	清掃・草刈り・伐採・苗木植栽による美化・緑化活動	小島観音山美化の会	200,000 円
	3	防災用品購入と防災訓練	鎌庭東自主防災会	200,000 円
	4	千代川地区 小学校児童の下校時見守り隊活動	千代川ボランティア会	158,000 円
第2期	1	発電機等購入整備事業	神明自治会	195,000 円
	2	地域活性イベント事業	ハンドメイドサークル 陽だまりマルシェ	200,000 円
	3	防災テント設備事業	若柳本田自治会	199,000 円
	4	イルミネーションメンテナンス事業	蚕飼地区まちづくり推進委員会	200,000 円
第3期	1	歴史資料展開催とお勉強会	豊加美歴史研究会	126,000 円
	2	視覚障がい者等用音訳録音機購入事業	浜木綿朗読の会	116,000 円
計				1,794,000 円

② 下妻市防災ラジオ購入助成金事業

下妻市が実施した防災ラジオの頒布に際し、市民の購入負担金の軽減措置として、1 台につき 1,000 円の助成を行いました。

助成単価	件数	総額
@1,000 円	51 件	51,000 円

(2) 地域福祉活動支援事業

住民同士が参加・協力して取り組む住み良いまちづくり事業を行う団体並びに当事者団体活動の支援を目的に助成金を配分しました。

<助成実績>

No.	申請事業	決定額
1	総上納涼盆踊り&屋台村	100,000円
2	たまり場ゆい運営事業	60,000円
3	とばのえ子ども夏まつり事業	100,000円
4	心身障害児者父母の会レクリエーション事業	71,000円
5	かみつま朝市事業	100,000円
計		431,000円

(3)活動助成事業

地域の特色を活かした福祉活動の取り組みを推進していくため、各支部及び下記の各団体に助成金を配分しました。

<団体助成金>

助成先	件数	金額
支部社協	8件	1,804,000円
自治区長連合会	1件	315,180円
民生委員児童委員協議会	1件	246,000円
合計	10件	2,365,180円

【ボランティアセンター事業】

1. ボランティア活動事業

(1)相談・登録・広報啓発

①ボランティアの状況

種別		団体数	会員数
登録	個人	—	61名
	団体	21団体	485名
把握(届出)団体		14団体	1,102名
計		35団体	1,648名

②ボランティアの相談・登録・紹介

内容	件数
ボランティア活動希望	11件
ボランティア活動依頼	8件
福祉教育支援・他	41件
活動者相談・情報提供	20件
保険・物品・その他	13件

③ボランティアセンターの広報・啓発

- ・ノベルティグッズの作成や広報紙等を通じ、ボランティアセンターをPRしました。
- ・学校での福祉教育やイベントの場において災害ボランティアセンターをPRしました。

開催日	内容	対象	参加
7/2	騰波ノ江地区防災訓練 災害VC PR	騰波ノ江地区一般 騰波ノ江小学校教諭	103名
10/28	わくわくみんなの防災ハロウィン 災害VC PR	一般	887名
11/26	下妻市総合防災訓練(千代川地区) 災害VCPR	一般	80世帯

(VC:ボランティアセンター)



ボランティアセンター事業ノベルティ

保存食 缶入りパン
(左：チョコチップ、右：レーズン)

(2) ボランティア活動助成事業

＜ボランティア活動助成＞

申請者	助成件数	助成額
サークル	8団体	240,000円
ボ連協	1団体	50,000円
学 校	12校	400,000円
計	21件	690,000円

※ボ連協：下妻ボランティア連絡協議会
(9サークル加入)

＜ボランティア保険加入状況＞

種 別	加入者数	助成額
登録団体・個人	363名	72,000円
把握団体・個人等	1,065名	—
災害ボランティア 個人	11名	—
計	1,439名	72,000円

(3) ボランティア養成事業

- ・共に生きる力を育む福祉教育の一環として、小学生親子を対象とした外出型の福祉教育や送迎サービ、傾聴ボランティアの養成講座を開催し、地域のために活動するボランティアの育成に努めました。
- ・下妻ボランティア連絡協議会の事業として交流会「砂沼を歩こう会」を開催しました。また、市内で個々に活動をしているボランティアといきいきサロン世話人を対象とした合同交流会を開催しました。

＜福祉教育・ボランティア養成講座＞

開催日	講 座 名	場 所	対 象	人 数
5/31	送迎サービス養成講座 講師：上筑波自動車学校 坂本 麻美 氏	下妻公民館	70歳以下の 一般	9名

① 6/16 ② 10/20	傾聴ボランティア養成講座 講師：NPO 法人日本傾聴ボランティア協会 山田 豊吉 氏	福祉センター砂沼荘	一般	① 27名 ② 28名
8/19	東京消防庁 本所防災館 防災体験ツアー	東京消防庁 本所防災館	小学生親子	15組 35名
11/16	ボランティアサークル研修 赤十字防災セミナー 講師：日本赤十字社茨城県支部 梅沢 亮太 氏	千代川公民館	千代川ボランティア会	20名
2/8	災害ボランティア養成講座 防災セミナー 講師：下妻市消防防災課 危機管理監 河井 繁樹 氏	福祉センター砂沼荘	一般	9名



「傾聴ボランティア養成講座」



「東京消防庁 本所防災館 防災体験ツアー」

< 研修・交流会 >

開催日	講座名	内容	参加
10/14	交流会 「砂沼を歩こう会」	対象：下妻ボランティア連絡協議会 会員 会場：砂沼、福祉センター砂沼荘 主催：下妻ボランティア連絡協議会	95名
3/9	個人登録ボランティア・ いきいきサロン世話人 合同交流会	講師：古河ヤクルト販売株式会社 栗原 剛 氏 対象：個人登録ボランティア いきいきサロン世話人 会場：福祉センター砂沼荘	29名



下妻ボランティア連絡協議会
「砂沼を歩こう会」



個人登録ボランティア・いきいきサロン世話人
合同交流会

2. 福祉教育支援事業

市内小中学校において福祉教育を実施した他、市内学童保育施設や小学校が主催する親子イベントにおいて、地域のボランティアの方々との交流や親子で共に学べる福祉教育を実施しました。

【市内小学校 9 校、中学校 1 校（1 校悪天中止）、放課後児童クラブ 1 カ所で実施】

種別	障害者・高齢者理解						地域共生・福祉理解		防災学習				環境・エコ活動		計
	アイマスク	手話	点字	シニア体験	車いす	盲導犬	昔語り	講話	マイ・タイムライン作成	HUG 避難所運営ゲーム	クロスロードゲーム	その他	エコ箸づくり	エコ石鹸づくり	
実施件数	5	7	5	2	4	2	5	4	2	-	2	1	1	-	40件
体験者数	168	249	201	178	180	59	335	141	176	-	125	67	38	-	1,917件
V協力延数	19	51	25	25	38	2	5	-	5	-	-	-	10	-	180件



「交流をメインとした手話体験」



「いざという時に役に立つ！
お湯ポチャご飯とホットトランプを作ろう」

3. 善意銀行

(1) 善意銀行

預託金	使途内容	件数	金額
寄付金	地域福祉のために	39件	766,716円
未使用切手	地域福祉のために	3件	652円分

種類	使途内容	預託件数
古切手	特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンターへ寄付し、アジアやアフリカの医療従事者派遣に役立てられます	140件
書き損じハガキ	官製ハガキに交換し、ひとり暮らし高齢者へ絵手紙を届けます	17件
預託品 (未使用タオル、 大人用紙おむつ他)	必要としている事業所・施設、個人に提供し、役立てられます	37件
入れ歯	特定非営利活動法人日本入れ歯リサイクル協会を通じてリサイクルをし、得られた収益については下妻市の地域福祉活動に活用させていただくとともに、公益財団法人日本ユニセフ協会へ寄付されます	13件

(2)フードバンク事業

- ・フードバンク事業周知のため、広報紙や SNS 等での広報啓発に努めました。
- ・市内 7 店舗のファミリーマートにファミマフードドライブ（食品寄贈ボックス）を設置していただき、食品の回収においては市内障害者福祉サービス事業所に協力をいただき、誰もが寄付をしやすい環境を整えました。
- ・食品ロス削減の観点より市内外の企業からの食品提供のご協力をいただきました。

【寄付の状況】

寄 付		回 数
個 人		80 回
ヤマダイ(株)		5 回
NPO法人 フードバンク茨城		2 回
セブンイレブン・ジャパン		1 回
(株)ダイナム		1 回
(株)カスミ 市内4店舗		64 回
ファミリーマート 市内7店舗 (ファミマフードドライブ)		51 回
き ず な B O X	市役所本庁舎	15 回
	市立図書館	16 回
	下妻公民館	16 回
	大宝公民館	6 回
	千代川公民館	11 回
	福祉センター砂沼荘	9 回
	(株)TAIYO	12 回
	JA 常総ひかり下妻支店	13 回
	JA 常総ひかり下妻千代川支店	5 回

【配布先の状況】

配布先	件数・回数 (延べ)
個 人	369 件
市内児童福祉施設	26 回
市内児童養護施設	3 回
市内福祉サービス事業所	15 回
お茶 NOMA	5 回
生活応援セット	2 回



ファミマフードドライブ 受取り協力の障害者福祉サービス事業所
(左より ひばりの、マルニカレッジ、(株)ファミリーマート水野様
菊池会長、たから学園、虹の家、夢工房おおぞら)

4. 災害ボランティアセンター

- ・災害ボランティアセンター運営に係る職員を対象に、研修会を年6回開催しました。
- ・協働型の災害ボランティアセンター運営を目指し、協定締結団体やボランティア団体、行政及び社協理事・評議員に参加をいただき、災害ボランティアセンター運営訓練を2月17日(土)(参加者60名)に実施し、発災時に連携・協働できる関係づくりに努めました。
- ・屋外や停電時の電源確保のために、ポータブル電源とソーラーパネルを購入し整備しました。
- ・小、中学校や地域において、災害ボランティアセンターの周知に努めました。



・被災地への職員派遣

災 害	派遣先	派遣職員
6月（取手市）梅雨前線による大雨被害	取手市災害ボランティアセンター	4名
9月（県北） 台風13号による大雨被害	高萩市災害ボランティアセンター	6名
3月（石川県）能登半島地震	穴水町災害ボランティアセンター	1名

・研修等への職員参加

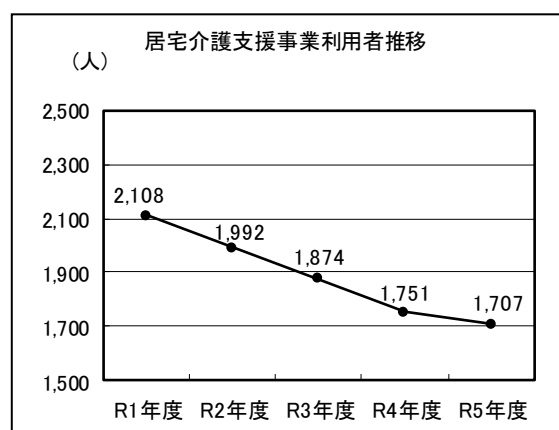
内 容	参加
県社協主催 災害時初動期対応チームメンバー研修（養成・マネジメント編・ICT編）	3名
県社協主催 災害VC運営支援システムIVOS（アイボス）操作研修会	1名
県社協・市町村社協共催 災害ボランティアセンター運営訓練（古河市・那珂市）	3名
下妻市総合防災訓練（11/26千代川地区）	7名
下妻市危機管理室 情報共有ツール「LoGoチャット」操作研修（1/11社協）	4名
下妻市災害対策本部図上訓練（2/4市庁舎）	2名

【介護保険等事業】

1. 居宅介護支援事業・介護予防ケアマネジメント事業（ケアマネージャー）

- ・契約件数を増やすなど業績の改善に取り組みましたが実績には繋がりませんでした。
- ・事業継続計画を策定し継続的にサービスの提供が行える体制を整えました。

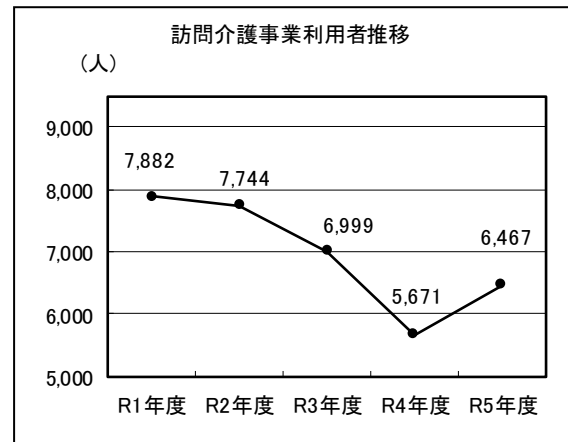
区分	延べ利用者
要支援1	107名
要支援2	166名
要介護1	449名
要介護2	448名
要介護3	309名
要介護4	172名
要介護5	56名
計	1,707名



2. 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業（ホームヘルパー）

- ・ICTの導入など業務改善に取り組み効率化が図れました。
- ・人員体制に変わりはありませんでしたが稼働率を上げ実績の回復が見られました。

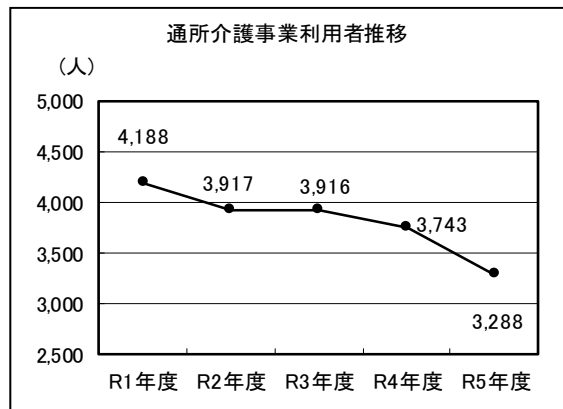
区分	延べ利用者
要支援 1	260名
要支援 2	592名
要介護 1	1,107名
要介護 2	1,444名
要介護 3	674名
要介護 4	1,428名
要介護 5	962名
計	6,467名



3. 地域密着型通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業（デイサービス）

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が続き営業停止や利用人数の制限を行ったことで実績は減少しました。
- ・新たな加算の取得など経営改善に取り組みました。

区分	延べ利用者
要支援 1	0名
要支援 2	149名
要介護 1	970名
要介護 2	982名
要介護 3	730名
要介護 4	406名
要介護 5	51名
計	3,288名

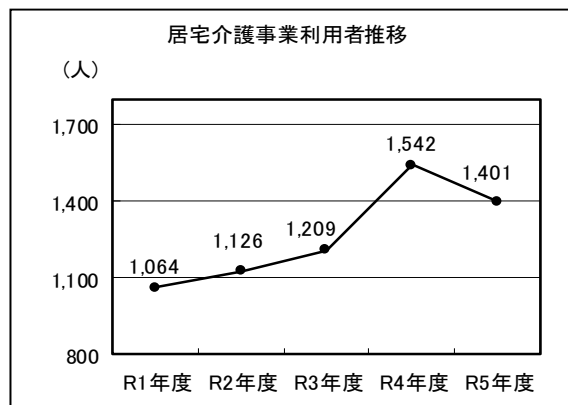


【障害者総合支援事業】

1. 居宅介護事業（障害者向けホームヘルパー）

- ・相談支援専門員など関係機関との連携を図り利用者の意思や要望に寄り添ったサービスの提供に努めました。

区分	延べ利用者
区分 1	0名
区分 2	57名
区分 3	356名
区分 4	519名
区分 5	0名
区分 6	469名
児童	0名
計	1,401名



2. 重度訪問介護事業・行動援護事業（障害者向けホームヘルパー）

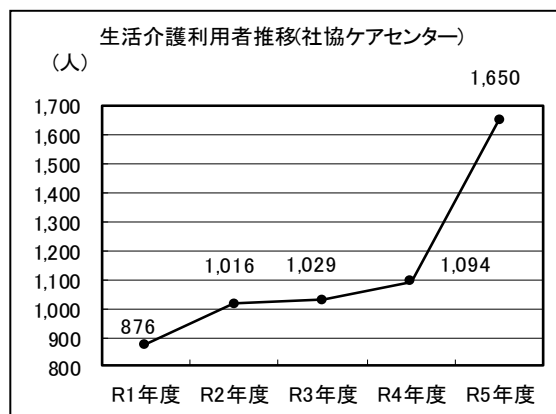
- ・両事業とも対象となるケースがなく、実績はありませんでした。

3. 生活介護事業（障害者向けデイサービス）

＜社協ケアセンター＞

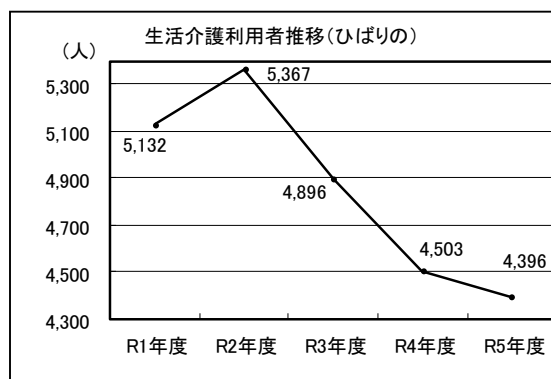
- ・利用者のニーズに応えるなど利用率を上げる取り組みを行い実績が上昇しました。

区分	延べ利用者
区分1	0名
区分2	9名
区分3	503名
区分4	382名
区分5	250名
区分6	506名
計	1,650名



＜ひばりの＞ コロナ感染及び防止対策により全体での利用が減少しました。

区分	延べ利用者
区分1	0名
区分2	0名
区分3	234名
区分4	1,552名
区分5	1,273名
区分6	1,337名
計	4,396名



4. 相談支援事業

- ・対象となるケースがなかったため、実績はありませんでした。

5. 障害者日中一時支援事業

- ・特別支援学校等の長期休暇期間及び休日等に一時的預かりの実績はありませんでした。

※令和1年度から令和5年度までの実績はありません。